

野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年9月後半)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年9月後半)について、主産地等から聞き取りを行いましたので、その結果を公表します。

1. 概要

ここ数年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、野菜の生育状況や価格の見通しを情報発信するため、平成23年より、主産地、卸売会社、中間事業者等から聞き取りを行い、その結果を「野菜の生育状況及び価格見通しについて」(以下「価格見通し」という。)として、農林水産省ホームページに掲載しています。

今回、本年8月下旬から9月上旬にかけて、台風の発生が相次ぎ、また、9月6日に北海道胆振東部地震が発生したため、これらによる野菜の生育への影響等を把握する必要性がありました。

このため、従来、価格見通しは、毎月月末を目途に翌月の見通しとして公表しておりますが、今回は、平成30年9月後半の見通しとして公表します。

なお、聞き取りを行った14品目の野菜の生育状況は、東京都中央卸売市場外において流通するものについても、同様の傾向です。

また、これまでの公表資料は、次のURL ページで公開しております。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/

2. 現在の生育状況

(総論)

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん及びにんじん)	だいこんの生育は平年並み。 にんじんは、6月中旬から7月上旬にかけての長雨に加えて、7月中下旬の高温、干ばつに伴う生育の低下により、小ぶりとなっている。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	はくさいの生育は平年並み。 キャベツ及びレタスは、7月末以降の適雨により、生育が良好となり、大玉傾向。 ほうれんそうは、8月下旬以降の日照不足に伴う生育の低下により、細身となっている。 ねぎは、台風第21号の影響により、倒伏や折損が生じた。
果菜類 (きゅうり、なす等)	きゅうりは、8月下旬以降の日照不足に伴い、落花が発生。 なす及びピーマンの生育は平年並み。 トマトは、8月中旬以降の高温に伴い、落花が発生。

土物類 (ばれいしょ、さといも 及びたまねぎ)	生育は平年並み。
-------------------------------	----------

3. 今後の生育、出荷及び価格見通し

(各論)

品目	主産地 ()書きは29年 9月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	9月後半 価格見通し (平年(直近 5か年平均)比)
だいこん	北海道(64%) 青森(33%)	・ 北海道及び青森県において、 <u>生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u>	平年並みで推移
にんじん	北海道(98%)	・ 北海道において、 <u>6月中旬から7月上旬にかけての長雨に加えて、7月中下旬の高温、干ばつに伴う生育の低下により、小ぶりとなっているため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u>	高値水準で推移
はくさい	長野(82%)	・ 長野県において、 <u>生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u>	平年並みで推移
キャベツ	群馬(73%) 岩手(11%)	・ 岩手県において、生育が平年並みであるものの、群馬県において、 <u>7月末以降の適雨により、生育が良好となり、大玉傾向となったため、9月前半の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移。</u> ・ 群馬県において、 <u>9月後半も出荷数量が多い状況が続く見込み。</u>	安値水準で推移
ほうれん そう	群馬(33%) 栃木(21%) 茨城(20%)	・ 群馬県、栃木県及び茨城県において、 <u>8月下旬以降の日照不足に伴う生育の低下により、細身となっているため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u>	高値水準で推移

ねぎ	青森(24%) 秋田(16%) 北海道(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 青森県及び秋田県において、生育が平年並みであるものの、9月上旬の降雨により、収穫作業が遅延。また、北海道において、台風第21号の影響により、倒伏や折損が生じた。これらのことから、9月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 北海道において、<u>9月後半も出荷数量が少ない状況が続く見込み。</u> 	高値水準で推移
レタス	長野(81%)	<ul style="list-style-type: none"> 長野県において、7月末以降の適雨により、生育が良好となり、大玉傾向となったため、9月前半の出荷数量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移。 長野県において、<u>9月後半も出荷数量が多い状況が続く見込み。</u> 	安値水準で推移
きゅうり	福島(27%) 群馬(14%) 岩手(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県及び岩手県において、生育が平年並みであるものの、<u>福島県において、8月下旬以降の日照不足に伴う落花が発生し、着果不良となることを見込まれるため、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準で推移
なす	群馬(32%) 栃木(28%) 茨城(24%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県、栃木県及び茨城県において、<u>生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並みで推移
トマト	北海道(17%) 青森(16%) 千葉(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道において、生育が平年並みであるものの、青森県において、7月下旬以降の高温に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、9月前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 後続の産地である<u>千葉県において、8月中旬以降の高温に伴う落花の発生により、着果数量が減少したため、9月後半も出荷数量が少ない状況が続く見込み。</u> 	高値水準で推移
ピーマン	茨城(38%) 岩手(31%) 福島(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 福島県において、8月下旬以降の日照不足により生育が低下したものの、<u>岩手県において生育が平年並みであり、また、茨城県において、生育が良好であるため、出荷数量は総じて平年並み、価格も平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並みで推移

ばれい しょ	北海道(92%)	・ 北海道において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
さといも	千葉(71%) 埼玉(14%)	・ 千葉県及び埼玉県において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移
たまねぎ	北海道(93%)	・ 北海道において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比

【お問合せ先】

生産局園芸作物課

担当者：朝倉、坂田

代表：03-3502-8111（内線4822）

ダイヤルイン：03-3502-5961

FAX：03-3502-0889

(参考)

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比

品目	9月1日 (土)	3日 (月)	4日 (火)	6日 (木)	7日 (金)	8日 (土)	10日 (月)	11日 (火)
だいこん	85%	92%	94%	111%	116%	129%	119%	107%
にんじん	101%	100%	104%	101%	121%	125%	132%	126%
はくさい	81%	85%	86%	86%	92%	92%	91%	84%
キャベツ	80%	77%	72%	72%	71%	71%	73%	68%
ほうれん そう	78%	76%	78%	80%	86%	96%	104%	131%
ねぎ	109%	114%	120%	127%	129%	130%	127%	133%
レタス	77%	74%	80%	74%	76%	78%	79%	76%
きゅうり	117%	118%	116%	106%	105%	107%	105%	120%
なす	94%	101%	102%	112%	116%	119%	127%	122%
トマト	134%	133%	131%	128%	132%	130%	123%	130%
ピーマン	120%	118%	114%	111%	104%	104%	107%	105%
ばれいしょ	101%	97%	99%	94%	106%	100%	103%	107%
さといも	72%	87%	85%	87%	94%	88%	88%	87%
たまねぎ	100%	102%	97%	104%	101%	100%	103%	115%

資料： 大臣官房統計部「青果物卸売市場調査日別調査」をもとに作成（東京都中央卸売市場のうち4市場の価格の平年比）。

注1： 平年比とは、日別価格と過去5か年の旬別価格の平均値との比である。

2： 平年比が120%以上となっている日を赤セルとした。